

上下水道事業の財政事情

上下水道事業の令和3年度決算状況と

令和4年度上半期(令和4年4月1日～9月30日)の状況を公表します

図経営総務課 ☎・☎(582)1136 FAX(582)5780

◎水道事業

令和3年度 決算状況

給水量は899万m³で前年度に比べ4万m³増、給水人口は、85、041人で前年度に比べ552人増となりました。

財政収支

収益全体では、新型コロナウイルス感染症拡大による生活支援策として実施した水道料金の一部減免の終了に伴い給水収益が増加したことなどにより、前年度に比べ総額で2億787万円の収入増となり、14億9、001万円となりました。

費用全体では、受託工事費の皆減などにより、前年度に比べ総額で3、807万円の支出減となり、13億5、605万円となりました。

この結果、当年度の収支は1億3、396万円の純利益となりました。

資本的収支については、企業債を発行し、耐震化事業に係る国庫補助金を収入するなどして収入額が4億7、770万円、支出額が10億3、154万円となりました。

なお、5億5、384万円の収支不足額は、過年度損益勘定留保資金などで補填しました。

令和4年度上半期業務状況

収益全体では、前年同期に比べ824万円減の7億472万円となりました。また、費用全体では、前年同期に比べ216万円の支出増となり、総額で5億7、364万円となりました。

この結果、当期の純利益は1億3、108万円となりましたが、上半期に比べ下半期に支出が集中するため、最終決算では当期純利益は減少する見込みです。

用語解説

- ・ **給水量** 水道メーターで量った実際に使われた水の量
- ・ **純利益** 事業全体の利益に臨時的な特別利益や特別損失を差し引いた最終的な利益
- ・ **資本的収支** 施設の建設費や企業債に関する収入と支出
- ・ **企業債** 地方公営企業が行う施設の建設改良などに要する資金に充てるために起す地方債
- ・ **損益勘定留保資金** 現金の支出を必要としない費用(減価償却費など)の計上により、企業内部に留保される資金

◎下水道事業

令和3年度 決算状況

総排水量は1、175万m³で前年度に比べ4・1万m³増、処理区域内人口は83、884人で、前年度に比べ1、226人の増となりました。

財政収支

収益全体では、流域下水道維持管理負担金過年度剰余金の返還金が発生したことにより、前年度に比べ総額で1億6、030万円の収入増となり、22億2、541万円となりました。

費用全体では、企業債利息の減少などにより、前年度に比べ総額で687万円の支出減となり、20億5、056万円となりました。

この結果、当年度の収支は1億7、485万円の純利益となりました。

資本的収支については、企業債を発行し、公共下水道接続替えに係る国庫補助金を収入するなどして収入額が9億4、275万円、支出額が16億8、936万円となりました。

なお、7億4、661万円の収支不足額は、過年度損益勘定留保資金などで補填しました。

令和4年度上半期業務状況

収益全体では、前年同期に比べ3億184万円増の13億8、885万円となりました。また、費用全体では、前年同期に比べ9、781万円の支出増となり、総額で10億281万円となりました。

この結果、当期の純利益は3億8、604万円となりましたが、上半期に比べ下半期に支出が集中するため、最終決算では当期純利益は減少する見込みです。

